

学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
理科	生物基礎	2	医看・理数	医看：必修 理数：選択	2
使用教科書 ・副教材等	改訂 高等学校 生物基礎（第一学習社）、コンセプトノート生物基礎（浜島書店） 生物基礎 実験ノート・問題集（愛媛県高等学校教育研究会理科部会生物部門）				
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間考査まで	第1編 生物と遺伝子 第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 第2節 細胞とエネルギー 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子の本体の構造 第2節 遺伝情報とタンパク質の合成	<ul style="list-style-type: none"> 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解し、細胞および生物の構造について学ぶ。 生物の活動に必要なエネルギーの出入りと、生物に必要な物質の合成や分解について学ぶ。 遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解する。 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する。 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。
一学期期末考査まで	第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境 第1節 体液とその働き 第2節 体内環境の維持のしくみ 第3節 生体防御	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境が保たれている仕組みを理解する。 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。 免疫とそれにかかわる物質や細胞の働きについて理解する。
二学期中間考査まで	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生と遷移 第2節 バイオームとその分布 第5章 生態系とその保全 第1節 生態系 第2節 生態系のバランスと保全	<ul style="list-style-type: none"> 陸上には様々な植生が見られ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、様々なバイオームが成立していることを学ぶ。 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを学び、生態系のバランスについての理解と生態系保全の重要性を認識する。
評価方法	【関心・意欲・態度】 出欠状況、授業態度、授業発表、ノート等の整理状況で評価 【思考・判断・表現】 授業発表、観察・実験の態度、実験ノートの記述、定期考査等で評価 【観察・実験の技能】 観察・実験の態度、実験ノートの記述、定期考査等で評価 【知識・理解】 小テスト、定期考査、実験ノートの記述で評価	